Part 1

中学校の部

第1章

中学校と中学生の理解

1　中学校・中学生の状況と進路の状況

①　中学校の数、中学生の数

・2013年４月の学校数は、10,628校で、前年より 71校減少している。そのうち、私立は 771校（前年より５校増加）で、全体の 7.3% である（高校の場合、2012年度における私立高校の割合は 26.5%）

・生徒数は、3,536,201人（男子：1,808,906人、女子：1,727,295人）で、前年より 16,462人減少している。

・中高一貫教育を行う学校は、「併設型」（高等学校入学者選抜を行わず、同一の設置者による中学校と高等学校を接続する形態）が 319校（前年度より 10校増加）であり、「連携型」（簡便な高等学校入学者選抜を行い、同一又は異なる設置者による中学校と高等学校を接続する形態）が 172校（前年度より 2校減少）である。

・１学級当たりの生徒数は 28.8人、本務教員１人当たりの生徒数は 13.9人である。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年８月を基に作成）

【中学校の設置者別学校数】

（校）

区　分	計	国　立	公　立	うち分校	私　立	計のうち中高一貫教育を行う学校（再掲）	
						併設型	連携型
平成 15 年度	11, 134	76	10, 358	74	700	50	133
20	10, 915	76	10, 104	76	735	219	175
21	10, 864	75	10, 044	79	745	247	177
22	10, 815	75	9, 982	80	758	273	177
23	10, 751	73	9, 915	80	763	289	178
24	10, 699	73	9, 860	82	766	309	174
25	**10, 628**	**73**	**9, 784**	**81**	**771**	**319**	**172**

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

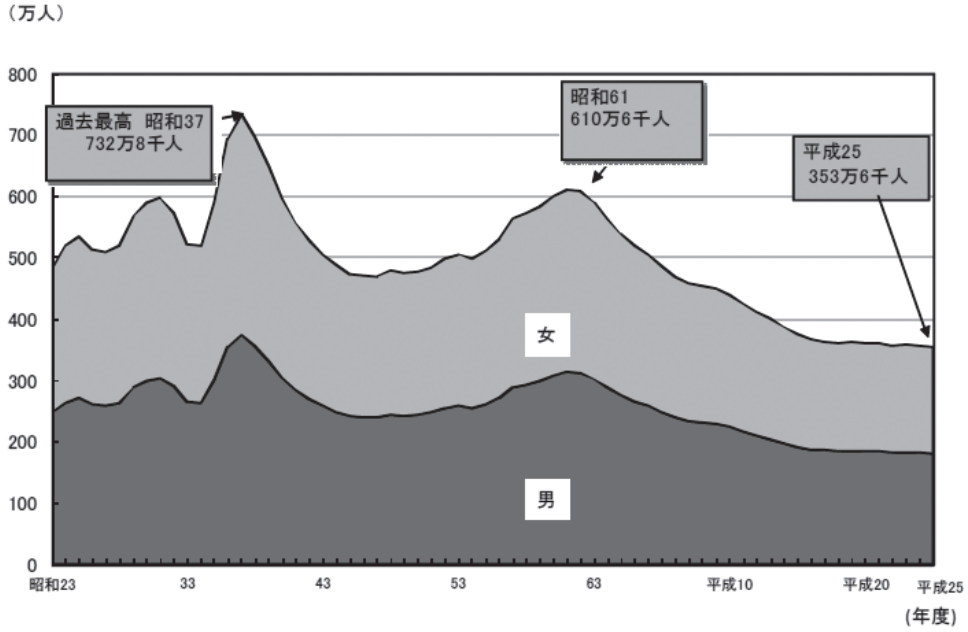
【中学校の学年別生徒数】

（人）

区　分	計	男	女	第１学年	第２学年	第３学年
平成 15 年度	3, 748, 319	1, 915, 040	1, 833, 279	1, 211, 515	1, 237, 042	1, 299, 762
20	3, 592, 378	1, 835, 204	1, 757, 174	1, 176, 243	1, 227, 410	1, 188, 725
21	3, 600, 323	1, 839, 139	1, 761, 184	1, 195, 134	1, 176, 890	1, 228, 299
22	3, 558, 166	1, 817, 273	1, 740, 893	1, 185, 116	1, 195, 493	1, 177, 557
23	3, 573, 821	1, 825, 801	1, 748, 020	1, 192, 817	1, 185, 091	1, 195, 913
24	3, 552, 663	1, 815, 641	1, 737, 022	1, 174, 041	1, 193, 010	1, 185, 612
25	**3, 536, 201**	**1, 808, 906**	**1, 727, 295**	**1, 168, 214**	**1, 174, 270**	**1, 193, 717**

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

【中学校の生徒数の推移】



（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

② 状況別卒業者数

・2013年3月の卒業者数は1,185,068人（男子：605,377人、女子：579,691人）で、前年度より10,316人減少している。

・卒業者を状況別にみると、「高等学校等進学者」が1,165,742人（進学率98.4％、男子：98.1％、女子：98.7％）、「専修学校（高等課程）進学者」が3,032人（進学率0.3％）、「専修学校（一般課程）等入学者」が1,053人、「公共職業能力開発施設等入学者」が573人、「就職者総数」が4,460人（就職率0.4％）、「左記以外の者」が10,397人、「不詳・死亡の者」が116人である。

・就職者総数を産業別にみると、最も多いのが第2次産業の2,160人（就職者総数の48.4％）で、次いで第3次産業の1,806人（同40.5％）である。

・就職者総数のうち、県外（出身中学校が所在する県以外の県）へ就職した人は454人で、就職者総数の10.2％である。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年８月を基に作成）

【状況別卒業者数】

区　分	卒業者数	A 高等学校等進学者	うち通信制課程を除く	B 専修学校（高等課程）進学者	C 専修学校（一般課程）等入学者	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者（左記A～Dを除く）	F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	左記「A」「B」「C」「D」のうち就職している者（再掲）
平成 15 年３月	1,325,208	1,289,008	1,274,039	4,092	2,110	1,380	9,310	19,144	164	1,051
20	1,199,309	1,173,322	1,156,076	2,722	1,309	866	7,331	13,633	126	580
21	1,188,032	1,163,336	1,144,539	2,777	1,216	751	5,777	14,078	97	409
22	1,227,736	1,203,618	1,182,222	2,902	1,345	694	4,979	14,058	140	403
23	1,176,923	1,156,158	1,134,964	2,760	1,104	618	4,106	11,994	183	343
24	1,195,204	1,174,596	1,152,915	3,070	1,297	563	4,409	11,133	136	368
25	1,185,068	1,165,742	1,144,039	3,032	1,053	573	4,155	10,397	116	305

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

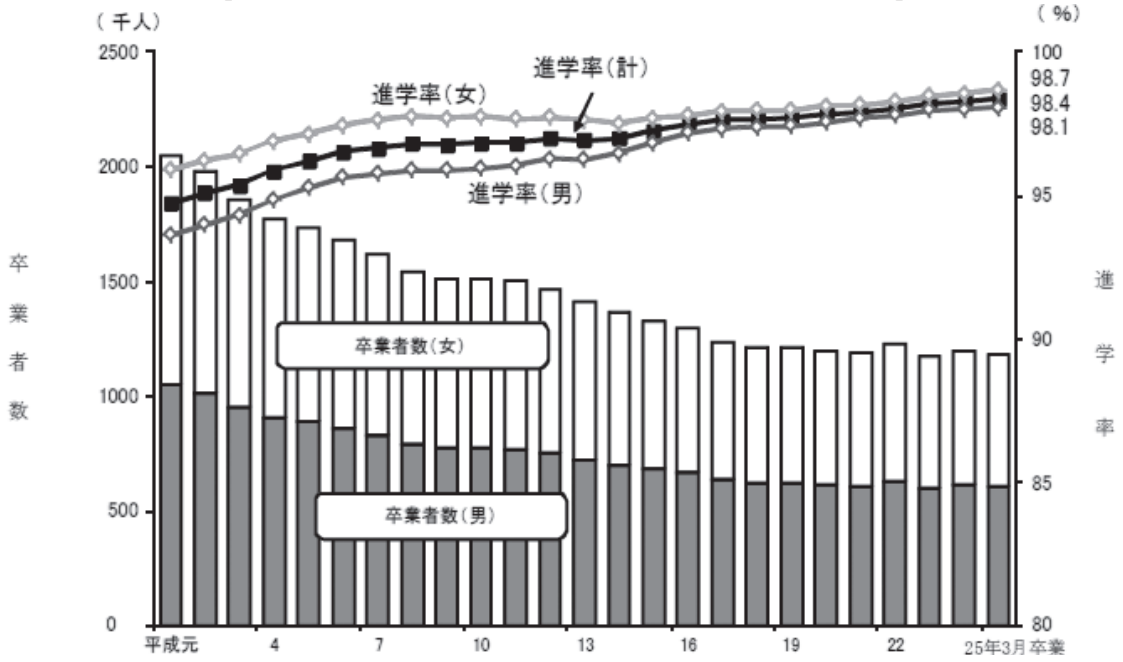
③　卒業者数、進学率の推移

・中学校の卒業者数は、1989（平成元）年3月度の 205万人から 2013（平成25）年3月度の 119万人まで、86万人減少している。

・高校への進学率は、1989年3月度の 94.7％から 2013年3月度の 98.4％まで、3.7 ポイント上昇している。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年 8 月を基に作成）

【中学校の卒業者数、進学率（通信制課程を含む）の推移】



（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

④　都道府県別の高等学校進学率、専修学校進学率、就職率

・高等学校等進学率を都道府県別にみると、最も高いのが岩手県、山形県、新潟県の 99.4%であり、次いで石川県、徳島県の 99.2%等の順となっている。

・専修学校（高等課程）進学率を都道府県別にみると、最も高いのが奈良県の 0.7%であり、次いで福島県の 0.6%等の順となっている。

・就職率を都道府県別にみると、最も高いのが香川県の 1.1%であり、次いで愛知県と山口県の 0.7%、沖縄県の 0.6%等の順となっている。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年８月を基に作成）

【中学校卒業者の都道府県別高等学校等進学率、専修学校（高等課程）進学率及び就職率】

区分	高等学校等進学率(%)	専修学校(高等課程)進学率(%)	就職率(%)	区分	高等学校等進学率(%)	専修学校(高等課程)進学率(%)	就職率(%)	区分	高等学校等進学率(%)	専修学校(高等課程)進学率(%)	就職率(%)
北海道	98.9	0.2	0.2	福　井	98.6	0.2	0.3	山　口	97.7	0.3	0.7
青　森	98.4	0.0	0.3	山　梨	98.5	0.0	0.5	徳　島	99.2	0.1	0.2
岩　手	99.4	0.0	0.2	長　野	98.8	0.2	0.2	香　川	97.6	0.1	1.1
宮　城	99.1	0.1	0.2	岐　阜	98.4	0.2	0.4	愛　媛	98.1	0.1	0.5
秋　田	98.9	0.4	0.1	静　岡	98.0	0.3	0.5	高　知	98.6	0.2	0.3
山　形	99.4	0.1	0.1	愛　知	97.9	0.1	0.7	福　岡	97.5	0.5	0.5
福　島	98.2	0.6	0.3	三　重	98.4	0.1	0.5	佐　賀	97.9	0.4	0.4
茨　城	98.5	0.1	0.4	滋　賀	98.9	0.0	0.3	長　崎	99.1	0.0	0.2
栃　木	98.4	0.0	0.3	京　都	99.0	0.1	0.2	熊　本	98.9	0.2	0.3
群　馬	98.4	0.1	0.3	大　阪	98.1	0.5	0.4	大　分	98.8	0.0	0.3
埼　玉	98.6	0.2	0.3	兵　庫	98.3	0.3	0.4	宮　崎	98.2	0.2	0.5
千　葉	98.5	0.2	0.3	奈　良	98.4	0.7	0.2	鹿児島	98.7	0.0	0.4
東　京	98.3	0.4	0.4	和歌山	98.7	0.3	0.3	沖　縄	96.0	0.3	0.6
神奈川	98.2	0.5	0.3	鳥　取	98.6	0.1	0.3				
新　潟	99.4	0.0	0.2	島　根	98.8	0.1	0.3	全国	98.4	0.3	0.4
富　山	98.9	0.0	0.3	岡　山	98.1	0.1	0.3	男	98.1	0.3	0.6
石　川	99.2	0.0	0.2	広　島	98.0	0.5	0.5	女	98.7	0.2	0.2

（注）高等学校等進学率は，高等学校の通信制課程（本科）への進学者を含む。

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

⑤　高等学校の学科別生徒数

・本科の高校生（全日制・定時制）3,310,938人を学科別にみると、普通科が2,398,368人で最も多く、生徒数のうち72.4％を占めている。次いで、工業科が260,559人で7.9％、商業科が209,416人で6.3％、総合学科が173,680人で5.2％等の順となっている。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年８月を基に作成）

【高等学校（全日制・定時制）の学科別学校数及び生徒数（本科）】

区分	全日制 学校数（校）	全日制 生徒数（人）	全日制生徒 の割合（%）	定時制 学校数（校）	定時制 生徒数（人）	定時制生徒 の割合（%）
計	4,807	3,204,380	669	106,558		
普通	3,654	2,326,015	72.6	468	72,353	67.9
農業	294	82,135	2.6	22	1,786	1.7
工業	527	248,182	7.7	110	12,377	11.6
商業	618	203,342	6.3	81	6,074	5.7
水産	42	9,423	0.3	-	-	-
家庭	264	42,261	1.3	14	583	0.5
看護	93	14,474	0.5	4	358	0.3
情報	28	2,775	0.1	1	238	0.2
福祉	98	9,826	0.3	-	-	-
その他	564	104,531	3.3	3	525	0.5
総合学科	326	161,416	5.0	38	12,264	11.5

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

2　高等学校受験への取組み

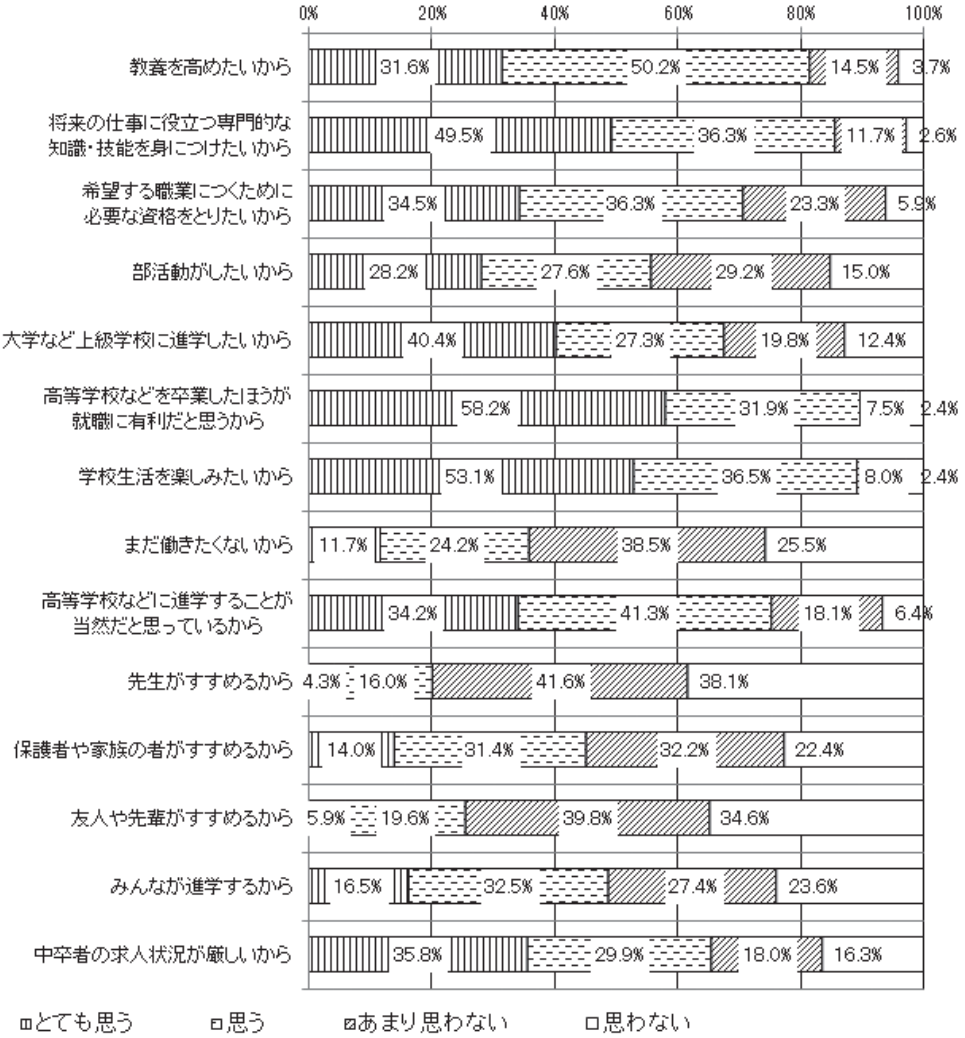
①　進学を希望する理由

・「とても思う」と「思う」を合わせた肯定的な回答の割合では、「高等学校などを卒業した方が就職に有利だと思うから」が 90.1％で最も高い。次いで「学校生活を楽しみたいから」が 89・6％、「将来の仕事に役立つ専門的な知識・技能を身につけたいから」が 85.8％、「教養を高めたいから」が 81.8％等の順である。

・肯定的な回答の割合が低い項目は、「まだ働きたくないから」が 35.9％、「友人や先輩がすすめるから」が 25.5％、「先生がすすめるから」が 20.3％等の順である。

（参考：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年３月を基に作成）

【中学生が進学を希望する理由】



（資料出所：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年3月）

② 志望する高等学校を選択する際に重視したこと

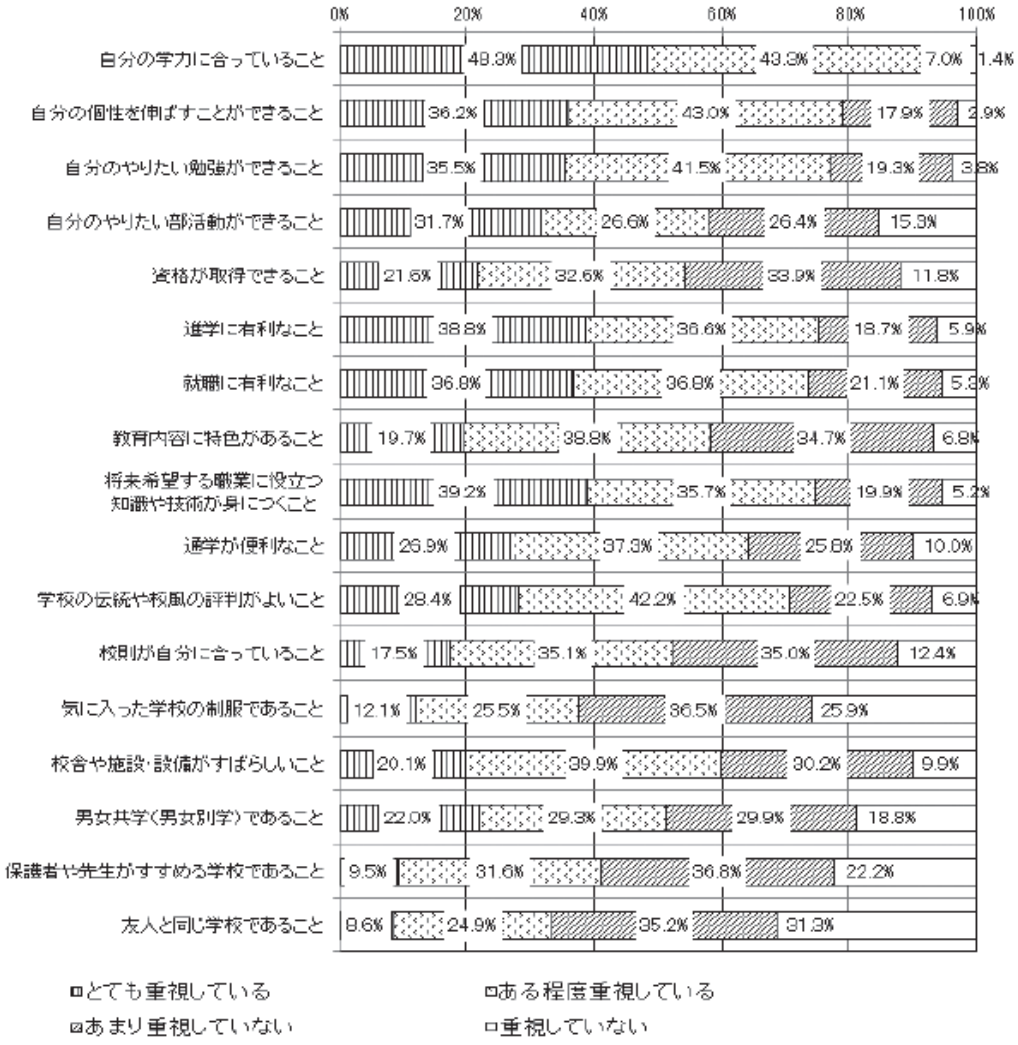
・「とても重視している」と「ある程度重視している」を合わせた肯定的な回答の割合の比較では、「自分の学力に合っていること」が 91.6％と最も高い、次いで「自分の個性を伸ばすことができること」が 79.2％、「自分のやりたい勉強ができること」が 77.0％、「進学に有利なこと」が 75.4％、「将来希望する職業に役立つ知識や技術が身につくこと」が 74.9％、「就職に有利なこと」が 73.6％等の順である。

・「とても重視している」の割合が 30％を超えているのは、上記の項目以外に「自分のやりたい部活動ができること」だけである。

・肯定的な回答の割合が低い項目は、「保護者や先生がすすめる学校であること」が 41.1％、「気に入った学校の制服であること」が 37.6％、「友人と同じ学校であること」が 33.5％等の順である。

（参考：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年３月を基に作成）

【進学希望先を選ぶに当たり重視したこと】



（資料出所：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年3月）

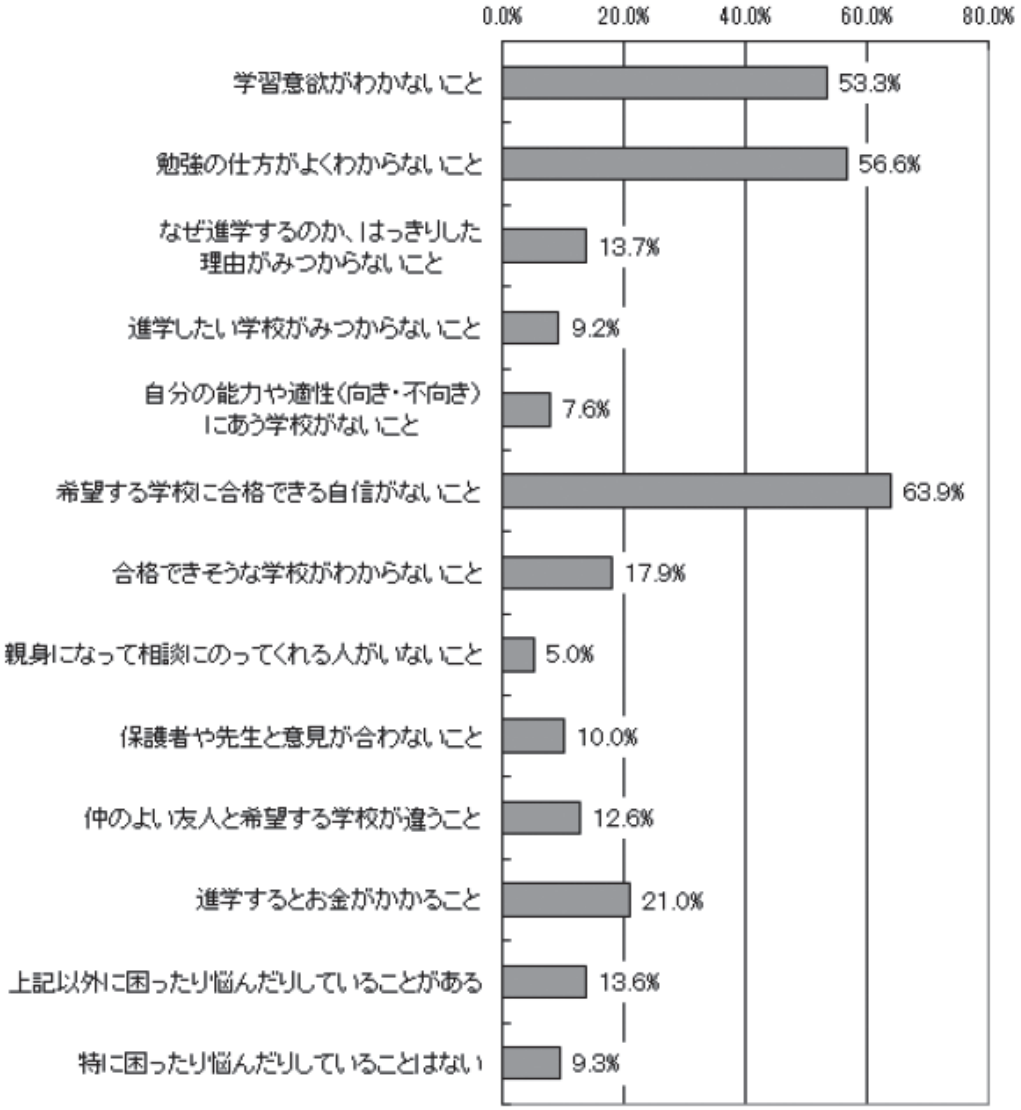
③　進学を希望するにあたって困ったり悩んだりしていること

・「希望する学校に合格できる自信がないこと」の割合が 63.9％で最も高い。次いで「勉強の仕方がよくわからないこと」が 56.6％、「学習意欲がわかないこと」が 53.3％等の順である。

・割合が低いのは、「進学したい学校がみつからないこと」が 9.2％、「自分の能力や適性（向き・不向き）にあう学校がないこと」が 7.6％、「親身になって相談にのってくれる人がいないこと」が 5.0％等である。

（参考：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年３月を基に作成）

【進学を希望するにあたって困ったり悩んだりしていること】



（資料出所：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年3月）

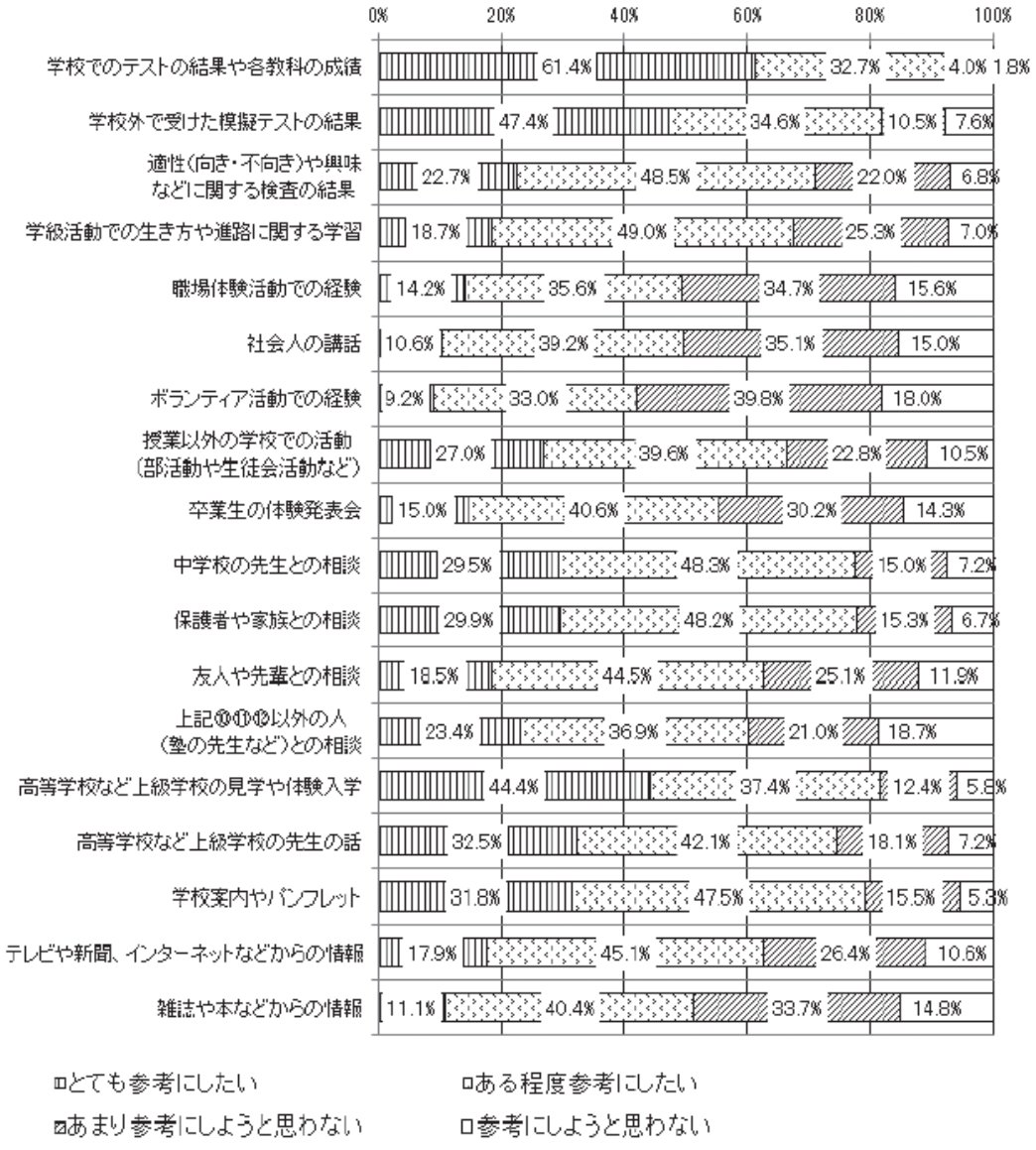
④　希望進学先を選ぶにあたり参考にしたいこと

・「とても参考にしたい」と「ある程度参考にしたい」を合わせた肯定的な回答の割合を比較すると、「学校でのテストの結果や各教科の成績」が 94.1％と最も高い。次いで「学校外で受けた模擬テストの結果」が 82.0％、「高等学校など上級学校の見学や体験入学」が 81.8％、「学校案内やパンフレット」が 79.3％、「保護者や家族との相談」が 78.1％、「中学校の先生との相談」が 77.8％等の順である。

・肯定的な回答の割合が低いのは、「職場体験活動での経験」と「社会人の講話」がともに 49.8％、「ボランティア活動での経験」が 42.2％等の順である。

（参考：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年３月を基に作成）

【希望進学先を選ぶにあたり参考にしたいこと】



（資料出所：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書」2013年3月）

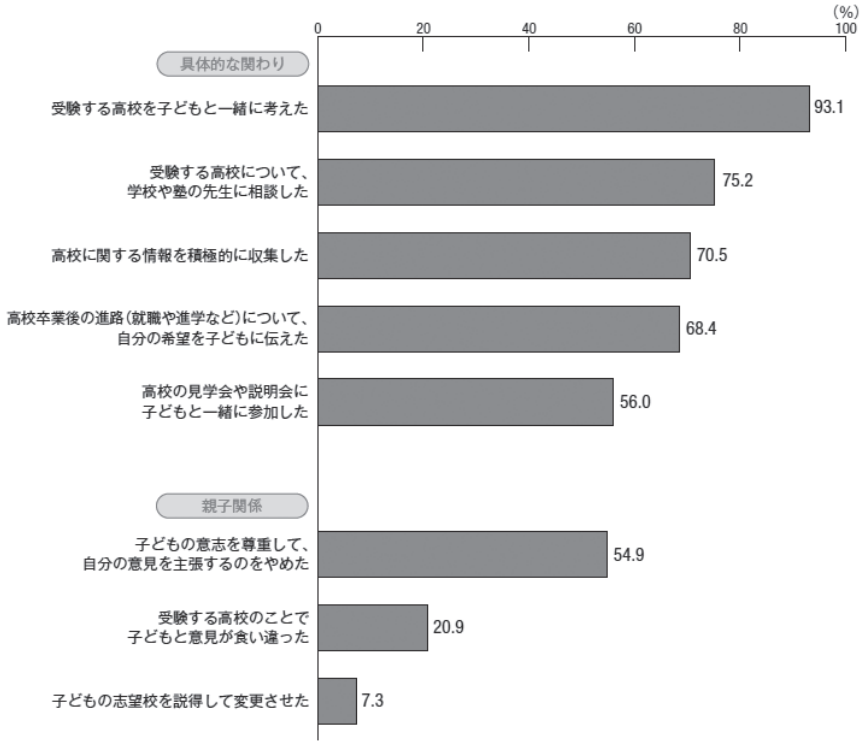
⑤　志望校選択についての母親の関わり、親子関係

・志望校選択に関し、母親の 75.2％が「学校や塾の先生に相談」したり、56.0％が「高校の見学会や説明会」に参加している。多くの生徒が情報源として保護者の話を参考にしていることがうかがえる。

・母親の 93.1％は「受験する高校を子どもと一緒に考えた」が、志望校決定の場面では、「子どもの意志を尊重して、自分の意見を主張するのをやめた」母親が 54.9％となっていることから、子ども主体で決定している家庭が多いことがわかる。

（参考：ベネッセ教育総合研究所「高校データブック 2013」2013年３月を基に作成）

【志望校選びについての母親の関わり、親子関係（高校１年生の母親）】



（資料出所：ベネッセ教育総合研究所「高校データブック 2013」2013年3月）

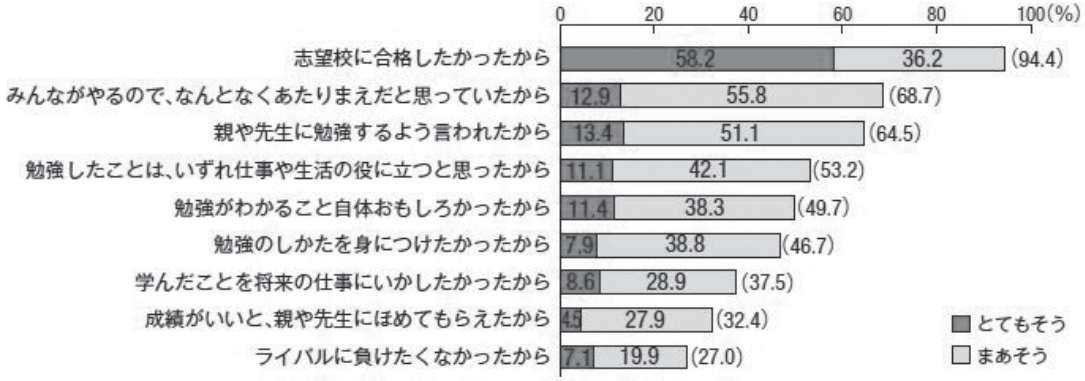
⑥　勉強の理由と方法

・「とてもそう」と「まあそう」を合わせると、勉強の理由では「志望校に合格したかったから」が 94.4% と最も高い。次いで「みんながやるので」が 68.7%、「親や先生に言われたから」が 64.5%、「いずれ仕事や生活の役に立つと思ったから」が 53.2%等の順である。

・「将来の仕事にいかしたかったから」を理由にあげたのは 37.5%、勉強がわかること自体がおもしろかったから」が 49.7% である。

（参考：ベネッセ教育総合研究所「高校データブック 2013」2013年３月を基に作成）

【勉強した理由（高校１年生）】



（資料出所：ベネッセ教育総合研究所「高校データブック 2013」2013年3月）

主体的に生き方を選択する力を育てる

高校教師だった時代の教え子は現在四十歳後半です。同窓会で話題になるのは、人生のさまざまな場面の選択についてです。進学、就職、結婚、転居、転職、などに遭遇したときになかなか選択できなかった経験についてです。では、直面する節目で主体的に進路（生き方）を選択する力を育成するにはどうしたらよいのでしょうか。

アメリカの大学教授にはテェニュア（終身雇用）という制度があります。羨ましいと思うかもしれませんが、そうとばかりは言えません。なぜならば、大学教授として責任もって職務を遂行していくことができるかを自分で判断し、職業生活に終止符をうたなくてはならないからです。自分で定年を決める、ここに究極の選択能力が求められるわけです。

キャリア教育では、主体的に進路（生き方）を選択する力を育成する手段としてまず自己理解を位置付けます。自分の姿を鏡に映して知るように、自己理解では、生き方ついてのさまざまな情報を鏡と考えます。進学先や就（転）職先の情報を知ることで自分を見つめるのです。その際、体験入学や職場見学など、体験がさらに自己理解を深めると考えられています。米国の教育哲学者であるジョン・デューイは、「為すことによって学ぶ」（Learning by doing）とまで言っていっています。

同窓会で卒業生の生きざまに触れることは私にとっては重要な体験のひとつです。かつての教え子から自己理解の機会を与えられていることになります。人生におけるさまざまな節目に直面し、互いに迫られている難しい選択にもがきながら学び合う、まさに師弟同行（師と弟子が同じ行いの中で学びを深めること）を地でいっているのかもしれません。

早稲田大学教育・総合科学学術院　教授（大学院教職研究科長）　三村　隆男

3　高校生の進路

①　進路先（現役生）

・高等学校卒業者の「大学・短大進学率」は、2010年の 54.3％をピークにここ 3年は微減し、2013年3月卒では 53.2％である。

・「就職率」は 3年連続で上昇し、2013年は 16.9％、「専門学校進学率」はここ 4年間連続で上昇し、2013年は 17.0％である。

・「一時的な仕事に就いた者」と「進学も就職もしていない者」の合計は、2013年は 67,563人であり、卒業者全体のうち 6.2％を占める。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年 8 月を基に作成）

【高等学校職業者の状況】

（人(%)）

区　分	卒業者	大学・短大進学者(率)	うち大学(学部)進学者(率)	専門学校進学者(率)	就職者(率)	一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡
平成16年3月	1,235,482	560,055 (45.3)	459,456 (37.2)	237,279 (19.2)	208,907 (16.9)	27,003 (2.2)	92,666 (7.5)	216
17年3月	1,203,251	568,710 (47.3)	473,263 (39.3)	228,867 (19.0)	208,747 (17.3)	22,855 (1.9)	78,922 (6.6)	267
18年3月	1,172,087	578,525 (49.4)	490,242 (41.8)	213,122 (18.2)	210,442 (18.0)	19,232 (1.6)	66,434 (5.7)	140
19年3月	1,148,108	587,999 (51.2)	505,951 (44.1)	193,156 (16.8)	212,635 (18.5)	16,358 (1.4)	59,962 (5.2)	410
20年3月	1,089,188	575,659 (52.9)	500,631 (46.0)	167,092 (15.3)	206,628 (19.0)	12,862 (1.2)	53,757 (4.9)	230
21年3月	1,065,412	574,333 (53.9)	503,840 (47.3)	156,363 (14.7)	193,615 (18.2)	13,592 (1.3)	54,678 (5.1)	158
22年3月	1,071,422	582,272 (54.3)	513,013 (47.9)	170,352 (15.9)	168,727 (15.7)	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)	299
23年3月	1,064,074	573,679 (53.9)	507,509 (47.7)	172,200 (16.2)	173,566 (16.3)	14,994 (1.4)	56,965 (5.4)	369
24年3月	1,056,387	565,779 (53.6)	503,545 (47.7)	177,486 (16.8)	176,931 (16.7)	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)	283
25年3月	1,091,617	581,138 (53.2)	517,398 (47.4)	185,546 (17.0)	184,702 (16.9)	13,624 (1.2)	53,939 (4.9)	302

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）

②　高等学校学科別進路先

・普通科卒業者は、大学等進学と専修学校専門課程の占める割合が高い。

・専門高等学校卒業者のうち、工業科卒業者は、就職者の比率が高く、左記以外の者の比率が低い。商業科では卒業者の約4人に 1人、総合学科では卒業者の約3人に 1人が大学等に進学している。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年 8 月を基に作成）

【学科別状況別卒業者数】

（人（%））

区分	計	大学等進学	専修学校専門課程	公共職業能力開発施設	就職	一時的な仕事	左記以外
普通科	794,222	494,163 (62.2)	122,361 (15.4)	3,486 (0.4)	64,041 (8.1)	9,284 (1.2)	42,441 (5.3)
工業科	82,404	12,302 (14.9)	12,270 (14.9)	1,684 (2.0)	52,119 (63.2)	906 (1.1)	2,088 (2.5)
商業科	70,149	17,997 (25.7)	18,554 (26.4)	339 (0.5)	28,367 (40.4)	1,284 (1.8)	2,372 (3.4)
総合学科	55,450	19,561 (35.3)	15,878 (28.6)	632 (1.1)	14,098 (25.4)	1,151 (2.1)	2,850 (5.1)

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）2013年8月」を基礎に事務局が編集）

③　都道府県別の進路先

・2013年3月卒業者の全国平均の大学等進学率は 53.2%（大学（学部）進学率は 47.3%）、専修学校（専門課程）進学率は 17.0%、就職率は 17.0%である。

・大都市圏（関東の一都三県、近畿の二府一県）では、全国平均よりも大学等進学率が高く、就職率が低くなっているのに対し、東北・山陰・九州（福岡県を除く）では、全国平均よりも専修学校進学率と就職率が高く、大学等進学率が低いという傾向がある。

・就職者総数のうち、県外（出身高校が所在する県以外の県）へ就職した者は 33,311人で、就職者総数の 18.0%を占めている（ちなみに、2013年3月卒で大学等に進学した者のうち、他県（出身高校が所在する県以外の県）の大学に入学した者の比率は 57.7%で、性別では男子が 59.6%、女子が 55.2%である）。

（参考：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年８月を基に作成）

【高等学校卒業者の都道府県別進学率と就職率】

区分	大学等進学率(%)	大学（学部）進学率(%)	専修学校（専門課程）進学率(%)	就職率(%)	区分	大学等進学率(%)	大学（学部）進学率(%)	専修学校（専門課程）進学率(%)	就職率(%)
北海道	39.9	34.2	22.7	22.0	京都	64.8	58.5	14.4	8.4
青森	41.4	34.0	15.4	31.9	大阪	57.7	50.9	15.0	11.2
岩手	40.4	33.8	21.3	29.9	兵庫	59.6	54.1	14.2	13.2
宮城	48.0	43.9	17.8	23.3	奈良	57.8	51.0	14.0	10.9
秋田	43.0	35.6	18.4	29.5	和歌山	47.6	41.1	17.5	20.6
山形	44.4	37.9	19.2	28.2	鳥取	42.3	32.8	17.6	23.8
福島	43.3	37.2	20.3	28.5	島根	46.0	37.2	23.2	22.0
茨城	49.3	45.7	18.4	20.0	岡山	51.0	44.5	16.6	21.2
栃木	52.3	47.2	17.6	19.8	広島	60.4	55.0	13.7	13.8
群馬	51.2	45.6	20.2	17.9	山口	41.4	35.2	17.7	27.8
埼玉	56.5	51.3	17.7	13.2	徳島	50.5	45.1	16.8	21.7
千葉	53.8	49.3	18.5	12.5	香川	49.3	42.2	18.1	18.8
東京	65.2	62.0	13.0	5.9	愛媛	50.4	43.4	18.5	21.6
神奈川	60.2	55.5	16.1	7.7	高知	44.4	36.5	21.9	17.8
新潟	45.0	39.4	28.4	17.3	福岡	52.0	44.6	15.8	17.2
富山	52.4	43.5	18.0	20.6	佐賀	41.8	35.2	17.8	31.0
石川	53.9	46.5	14.7	20.9	長崎	41.9	36.4	17.9	29.6
福井	52.8	44.1	15.3	23.5	熊本	43.6	37.5	19.1	25.3
山梨	57.4	51.3	16.9	15.1	大分	45.5	35.4	21.0	26.2
長野	47.8	38.0	22.9	16.4	宮崎	42.4	34.3	17.5	29.7
岐阜	55.2	47.4	14.3	22.6	鹿児島	41.4	29.3	20.8	26.5
静岡	53.1	47.9	16.5	21.3	沖縄	38.2	34.4	26.4	15.2
愛知	58.3	52.8	12.9	17.7	全国	53.2	47.3	17.0	17.0
三重	50.9	44.6	14.6	25.2	男	50.9	49.7	13.6	20.3
滋賀	56.2	49.3	16.4	16.6	女	55.5	44.9	20.5	13.6

（注）大学等進学率は，大学・短期大学の通信教育部への進学者を含む。

（資料出所：文部科学省「平成25年度学校基本調査（速報値）」2013年8月）